



## ◇登川で鮎の放流を経験した小学生に、出前講座を行いました◇

先月登川で鮎の放流体験を行った南魚沼市立第一上田小学校の4年生に対し、登川が有する豊かな自然や、これまで幾度となくもたらされてきた災害の状況、そして豊かな環境を守りながら安全・安心の確保に向けて取り組んできている砂防事業の理解を更に深めて頂くことを目的に、平成26年7月8日に魚沼漁業協同組合上田分会と合同で出前講座を行いました。

出前講座では、魚協から河川に生息する魚の種類とその保全に関する取り組みの説明を行った後、湯沢砂防事務所から、小学校も登川の扇状地にあり、地域は大雨の度に被害を受けてきたこと、流路工の整備により災害が減り、工業団地や河川公園などが整備されたこと等を説明しました。

また、模型を使用して、土石流の恐ろしさや登川流域各所に整備されている砂防堰堤の役割、そして、特に梅雨末期を迎えることから、大雨の際に気をつけていただきたいこと等も説明しました。

中には難しい話もありましたが、登川に棲む魚の話や、模型による土石流の発生実験の時には沢山の声が上がると、生徒達は熱心に耳を傾けていました。



ちょっと難しい話・・・



土石流の模型に沢山の声が上がりました！！



昭和57年の状況



登川流路工 施工後の状況

登川扇状地では、流路工の整備により土地利用が進みました。